

2018Japan National Team Report "選手"



報告者	クラブ 江の島ヨットクラブジュニア 学年 中学2年 氏名 北原 頌子		
開催地	キプロス共和国		
大会期間	2018. 8. 27 ~9. 6 プレ大会参加のため8. 20~滞在		
セール No	JPN3389	最終順位	シルバー40位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温は、昼は27度くらいで毎日水着で海上に出ていました。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	海面は 毎日200度くらいまで振れると風がふいてきました。 そこから午後にかけて 230度まで振れて行って 風の振れが止まるという傾向でした。 けれど、風に吹く週、吹かない週が交互にあるそうで、ワールド大会前(プレ大会)は、ずっと風が吹いていたのにワールド期間中は全然風がありませんでした。
セッティングで注意したこと	ガラミの調整を徹底しました。 また、海外選手のセッティングを見たりすることもありました。
セーリングで注意したこと	スピードを意識して走りました。 ランニングなどは、パンピングしやすい波でした。
海上で練習したこと	基本はスピードの出方の確認で風の振れを見て、 コースを引K練習をしました。

実際のスベリはどうでしたか？	レース中でも練習と同じように いいスピードが出せたと思います。
スタートは、どうでしたか？	海外選手たちのレベルが高くて 全然出れなくて悔しい思いをしました。
コース戦略はどうでしたか？	プレ大会の時には、あまり上手いかなかったけれど、ワールド期間中は風の振れに対して上手くコースを引くことができたと思います。
自分より上位の選手との違いは？	まず、すべての動作において、差があって コース取りも絶対に失敗せず、もっと海面をよく見ているなどおもった。
国内の練習で役立ったこと	ジャカルタでのアジア大会の経験、夏休みに練習した成果もあって 選考会が終わった時よりもスピードを出すのが上手くなりました。
国内の練習で足りなかったこと	スタート練習など、ワールドの選手がいてと思って日本でも練習をするべきでした。 マーク回りなども意識して練習することが足りなかったと思います。
印象に残った外国選手は？	THA244 USA111
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	行ってから、コースを引くのが上手くなった。 また 自分のモチベーションもあがった。
今後の課題と目標は？	ワールドで学んだことを練習で行い、 来年のワールドで今年の悔しい気持ちをぶつけて良い結果をだせるようにすることです。
JODA への要望	ありがとうございました。
その他	

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会